

令和7年度 愛媛から「体験の風をおこそう」運動推進事業

親子でアウトドア 防災編

1 ねらい

- ・防災体験活動を通して、命を守るために必要な知識や技術を身に付ける。
- ・親子のふれあいや参加者相互のふれあいを通して、豊かな心を育む。
- ・「体験の風をおこそう」運動・「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進する。

2 実施日

令和7年10月26日（日）9：00～14：15

3 日程

日程	内容
8:30	受付
9:00	開会式
9:15	施設見学、火おこし体験、気をつけ妖怪ぬり絵、 ペットボトルで作る雨量計
11:15	ひなんテント、災害用トイレ組立て体験、洪水積み木リレー
12:15	昼食（火おこしで温めたカレーを食べよう） 休憩
13:15	煙の中の避難体験、消防車両とトイレカー見学
14:00	閉会式
14:15	消防車の上からお菓子まき

4 活動場所

大洲市防災センター（愛媛県大洲市若宮1869-1）

5 参加対象・募集人数

小学1～6年生とその保護者 20組（40名程度）

6 参加人数

12家族（31名）

7 活動内容

大洲市防災センターを会場として、様々な防災プログラムを体験することができた。

午前の前半は、初めにメタルマッチとまいきり式火おこし器を使用して火おこし体験を行った。家族で協力しながら火を起こすことができたときの表情には、喜びと達成感、そして火を起こすことの大変さを実感した様子が見られた。次に屋外にあるベンチ式かまどで参加者がマッチ

を使用して、かまどの火付けを行い、防災食作りに挑戦した。

午前の後半は、大洲市防災センターによる避難テントの設営体験や災害用トイレの組み立て体験を行い、さらに国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所による洪水積み木リレーを行った。

昼食を挟み午後からは、大洲市防災センターによる煙の中の避難体験や消防車両とトイレカーの見学を行うなど、親子で交流しながら様々なプログラムを体験することができた。



8 参加者の声

事業後アンケート結果

*満足：90.9% *やや満足：9.1% *やや不満：0.0% *不満：0.0%

- 初めて知ったこともあり、日頃から防災について家族で考えたいと思いました。いろいろな経験をさせていただき、ありがとうございました。
- 身近なことから防災について考えたり、知ることが大事だと思いました。今日はありがとうございました。
- 学校などでもしてほしい。定期的にこのような勉強をしたいと思います。

様々な機関が連携して防災体験を提供することにより、家族で楽しみながら知識や技能を身に付けることができた。防災について考える機会になったとの声を聞くことができた。

9 事業の成果と課題

大洲市防災センターや国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所、大洲地区広域消防事務組合と連携をすることにより、国立大洲青少年交流の家だけでは提供できない充実した防災プログラムの提供ができた。

昨年度の参加者アンケートでお米が硬かったとのご意見があったため、今年度は一度湯煎をした後、昼食時間前に再度湯煎をすることで、温かいほかほかのご飯を提供することができた。また、昨年度は参加者がまいきり式火おこし器での火おこしがうまくいかなかったとの反省から、今年度は事前に指導方法の確認や道具の整備を行ったこともあり、当日は家族で協力して着火でき、達成感を感じている参加者が多く見られた。

来年度は連携している他機関と協力して広報活動を行い、多くの人に周知することで参加経験者はもちろん、初めての参加者を増やしていきたい。

(担当：事業推進係員 宮崎 公也)